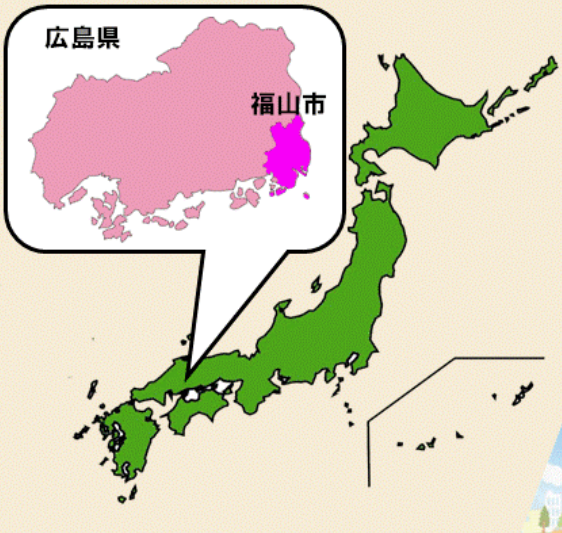
ポスター
セッション

平成 25 年度「生活者としての外国人」のための日本語教育事業
地域日本語教育実践プログラム B

【ポスター発表（１１）】　　団体名：　福山市

福山市の概要

～福山ってどんなとこ？～



■市のデータ

人　　口：472,332人（2014年9月末）
世　帯　数：200,039世帯（2014年9月末）
面　　積：518.14km²　（2012年9月末）
外国人市民：46か国 6,452人（2014年9月末）
外国人相談：中国語・ポルトガル語・スペイン語・英語（月～金曜日）

～外国人市民の現状～

福山市に住む外国人市民は，1985年12月末には1,640人であったが，2014年９月末現在では，46か国6,452人となっている。

人口に占める外国人住民の割合は1.37%となり，　国籍別で見ると，1985年の時点では，韓国・朝鮮籍の人の割合が全体の89.3%（1,465人）を占めていたが，1990年の「出入国管理及び難民認定法」の改正により，南米からの日系人の割合が高くなった。また，留学生や国際結婚による増加も見られる。加えて，1993年に始まった外国人研修・技能実習制度の普及により，中国をはじめ，フィリピン，ベトナム，インドネシアなどのアジアの国々からの研修生や技能実習生が大幅に増加していることなどから，多国籍化が進むとともに，長く住む外国人が増えている傾向があり，地域の一員として安心して暮らせるまちづくりが必要となっている。

また，それぞれの在留資格によって，生活事情が異なることから，抱えている問題も複雑多岐にわたっており，ボランティア団体，NPO・NGO団体等と連携を図りながら，問題の解決に取り組んでいくことが重要となっている。

福山市日本語教室　検索　http://www.city.fukuyama.hiroshima.jp/soshiki/jinkensuishin/20315.html

ポスター
セッション

平成 25 年度「生活者としての外国人」のための日本語教育事業
地域日本語教育実践プログラムＢ

事業実施概要

事業名称	コミュニケーション能力ＵＰの日本語教室			
地域の課題	市内で開催されている日本語教室は８教室あるが，開催地域が限定されているため，外国人市民がより参加しやすいよう開催場所を増やしていくことが望まれており，将来の自主的運営をめざして新たな教室を開催し，事業内容を検証することにより日本語教育の体制整備を行う。			
事業の目的	日本で生活する外国人市民が，地域住民とのコミュニケーションが図られ，地域の一員として生活できるよう，地域活動や交流イベントを通じて生活に直結した日本社会の制度や必要な日本語能力の習得を図る。			
事業内容	**取組1**		**取組2**	
	名称	日常生活に必要な日本語教室	名称	日本語教室連絡会議
	内容	日本の年中行事や習慣を理解する。子どもフェスティバルやカープデーなどの市全体の行事に参画することを通じて，コミュニケーションを図りながら地域生活に役立つ日本語能力の向上を図る。	内容	日本語教室の運営，関係機関との情報共有，意見交換，多文化共生の地域社会に向けた意識啓発など運営上の課題点を共有することにより，教室間の連帯や情報提供を行う。
	対象	市内に居住又は勤務する外国人市民で，日常生活での会話ができ，日本語能力の学習に関心がある人。また，ひらがな，カタカナが読み書きできる人。	対象	福山市内の日本語教室の代表者及び関係行政職員
	時間	49時間 １回　3時間×13回（全39時間） １回　5時間×　2回（全10時間）	時間	１回　3時間×2回（全6時間）
	人数	36人	人数	18人
	取組3			
	名称	事業内容，結果，評価の周知		
	内容	市広報をはじめ，市ホームページに事業周知や事業評価なついて掲載するとともに，NPO法人のホームページへの掲載やブログ，コミュニティ放送の多言語放送番組により事業の周知を行う。		
	対象	市民		
	時間	7．5時間		
	人数	9人		
連携体制	参加者の募集や事業内容の周知について，国際交流協会，市内の各日本語教室，外国人市民支援団体のホームページやエフエムふくやま（多言語放送番組）と連携を図っている。			
成果と課題	日本語教室として市内のイベントにボランティアスタッフとして参加したことにより，生活に直結した日本語能力を習得することができ，意欲的に日本文化を理解するきっかけとなった。日本人市民も外国人市民もそれぞれが地域社会のメンバーとして参画することにより，お互いに支えあう相互の関係をつくることにつながった。今後も外国人市民が気軽に集える場づくりを進めるとともに，交流できる場の開設を拡大していくことにより，多様性を活かしたまちづくりの推進を図る必要がある。			
発表者から一言	行政，団体，企業による協働の取組を発展させることにより， 多文化共生社会を実現するための事業を継続していきます。 ローズマインド（思いやり 優しさ 助け合いの心）があふれる ばらのまち　福山			